NIE実践報告

1．タイトル：新聞に親しむ

2．学校名

千葉県八千代市立大和田南小学校

3．実践者名（代表者名）

校長　狩野　公太郎

4．学年

第1、2、3、4、5、6年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語、生活、社会　600人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞の写真を見て　町探検新聞　千葉県新聞　私たちと情報　歴史人物新聞

7．目標（狙い）

平成21年度は全学年の授業で新聞を活用し、子どもたちに少しでも新聞に親しませたいと考え実践してきた。各学年のいろいろな教科で新聞を取り入れた授業をおこなうことで新聞への興味が高まると考えた。

8．評価の視点

子どもたちが新聞に親しみ、新聞の内容を身近に感じ、意欲的に新聞を学習に役立てたり、学習のまとめに役立てようとする。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

各学年で国語や生活、社会の年間指導計画の単元の中で実施した。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

中学年では、年間を通して多教科にわたって学習の中に新聞記事を取り入れることで、少しずつ新聞記事に興味を示し、読んでいる子も増えていた。好きなスポーツ記事や連載されていることわざなどを集めノートにまとめることで、新聞が以前よりも身近になった。

高学年では、新聞形式でまとめる学習を行ったことで必要な情報を的確に選べるようになってきた。新聞のレイアウトも上手になり、見やすく構成できている。社会科の授業で新聞を活用したことでこれからの学習に関する意欲が高まった。

全体での成果と課題

・子どもたちは新聞を読んだり、新聞作りを行ったりして自分の身近にある新聞の役割に気づくことができた。また、新聞には多くの人たちが関わっていることにも気づきはじめている。
・子どもたちが写真や新聞の記事に親しむことで特に文章や文字になれてきた。「言語活動の充実」にむけて新聞の有効な活用実践を今後も進めていきたい。
・教師がまず、新聞に親しみ、新聞を授業に取り入れようとする姿勢を高めていきたい。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

国語の授業で3分間スピーチを行った。NIE教育と関連づけて、朝の会で日直が、「今日のニュース」として自分の興味のある記事を紹介して、感想を話した。さらに、その記事に関する質疑応答して、1年間行った。また、自分たちの学習したものを記事にまとめることに取り組んだ。

12．成果と課題

子どもたちは私たちが感じている以上に新聞を読んだり、文字に親しんだりしてはいないことがわかった。子どもたちが長い文章を読み取ることが学力向上に直接つながると今回の実践を通して感じることができた。また、社会に目を向け、多くの人たちが様々な考えを持っていること、様々な生活をしていることを感じることは子どもの視野を広げることにつながることを感じることができた。特に最近、自分の見方や考え方を主張する子どもが以前より増しているように感じる。新聞を通してこれらの課題に向かうことができ、教材としての可能性を新聞はたくさん持っていると実践を通して感じることができた。